

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいじいすまいる		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブログ発信で今日1日の様子を分かりやすく伝えている。	毎日行っている活動を写真として視覚的に分かりやすく伝える様にしている。 また、過日の活動の様子をカードにして、初めて参加する児童には何をするのか声掛けと視覚で伝えることでスムーズに参加できるよう工夫している。	笑顔で楽しく取り組んでいるという場面を写真の中でピックアップして発信していく。
2	子どもの体調の変化等の発信をしっかりと行っている。	連絡帳や送迎の際などに子どもの体調の変化や出来事などを伝え、保護者と共有している。	ブログで子どもの変化などを分かりやすく伝える事が出来る様に取り組んでいく。 連絡帳や送迎の際、活動内容等を的確に伝えていく。
3	地域交流での取り組みで他の施設や地域の方と交流している。	日頃から地域の方への挨拶を心がけ、イベント等があった際は積極的に参加している。 近隣で開催される子ども食堂の法人と連携し、定期的な交流を行っている。	自治体の取り組みや保護者からの情報を全職員で共有し、イベント等に積極的に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムの情報提供が弱い。	相談を頂いてからの対応になってしまっている。	自治体や任意団体からの案内をデイからも発信していく。 研修会等の開催を検討する。 面談や電話での際は細かく伝えるよう心がけていく。
2	児童館やほかの事業所との活動をやっているが伝え方が不十分である。	連絡帳などには記載をしているが、保護者の方々全般に伝えられていなかった。	わかりやすく広く伝える事が出来る様に工夫していく。
3	保護者同士の交流が出来ていない。	感染症拡大防止対策として交流会の開催を中止していた。 高学年の児童がメインであるため、現状保護者からのニーズがない。	長期休暇時などに参観日を設け、保護者同士の交流の場を持つよう検討していく。